

第32回わんぱく相撲 全国大会 (5年生の部)

3位 弘道第一小学校 よこやま 横山 つかさ 司さん (当時5年)

約4万人のわんぱく力士がめざした相撲の聖地「両国国技館」。その舞台上、見事全国3位という好成績を収めました。それは相撲を習い始めてわずか1年半での快挙でした。

身長166cm、体重127kgと恵まれた体格に加え、日々の努力が実を結びました。道場では、小学4年生のときから1人だけ中学生に混じって稽古し、ときには道場の先輩で全国大会優勝経験のある高校生や日本体育大学相撲部のレギュラーに胸をかり、激しいぶつかり合いも。

大会を振り返り、「優勝者相手にあと一步のところまで負けてしまい、悔しさもあったが、自分のめざす押し相撲ができた」と手応えを口にした横山さん。道場の村田光央先生は「稽古でどんな相手にも恐れずにぶつかっていたことで精神力が鍛えられ、司さん本来の力が全国の大舞台で発揮できた。そこにはただ勝つこと以上の意味がある」と評価しました。

今年のわんぱく相撲も地区大会、都大会ともに1位で通過と初の全国制覇に向けて視界は良好です。



VOL.19

すごいね！
あだちの
子どもたち



第十三中学校 たきた 滝田 いずみ 静海さん
(当時2年)

第47回ジュニア オリンピックカップ 陸上競技大会女子 (100m) 4位

「スタートラインに立って、真っ直ぐ伸びているゴールを見つめるときが楽しい」と100m走の魅力を語った滝田さん。小学生のときに区の陸上大会の100m走で優勝したことがきっかけで、陸上部に入部しました。

滝田さんの強みは、持ち前の高い集中力や瞬発力によるスタートダッシュと、課題に立ち向かう姿勢です。後半に失速する課題を、200m走や長距離走の反復練習により克服し、今では後半の伸びが最大の武器となりました。

もう1つ、強みを語る上で欠かせないもの。それは、熱心に指導してくれる顧問の杉村先生と、栄養を考えた食事や走るフォームの研究など多方面で支えてくれる家族の存在です。

こうした努力や周囲の支えが、昨年の全国大会で12秒29の自己ベスト更新、4位入賞という結果に繋がりました。大会を振り返り、真っ先に「これまで支えてくれたみんなに恩返しができてよかった」と感謝の言葉を口にしました。

今後の目標は、今年のジュニアオリンピックで優勝すること。その夢を実現させるべく、これからも走り続けていきます。

Information

◆教育政策課 教育政策担当 ☎ 3880-5962

「美しいまち」は「安全なまち」
ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中

